

紫雲会 TIMES



2
volume

高松商業
高等学校

高松商業高等学校同窓会紫雲会会報誌



GO!!
TAKASHO FOOTBALL CLUB



◆令和8年度 紫雲会組織 (令和8年より4/1～3/31 期の変更しています。)

紫雲会本部（事務局）

会長 松野誠寛
副会長 國方美紀、中筋政人、齊藤良紀、松本静香、中橋政彦、木村構作
事務局長 多田健一郎
監査 穴吹忠義、矢野美奈子
学校事務局 谷畑祐二、田澤香緒里、大高直土
〒760-0068 香川県高松市松島町1-18-54 香川県立高松商業高等学校
TEL (087)833-1971 FAX (087)862-3229

紫雲会東京支部（事務局）

支部長 堀 眞英
副支部長 成田親王
事務局長 丸尾恭久
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1丁目1-12 プラザANSビル7F
(株)全日警ビルサービス内 堀 眞英
TEL (03)5820-9123 FAX (03)5820-9124

紫雲会大阪支部（事務局）

支部長 外山公一
副支部長 國宗勝彦
副支部長兼事務局長 大森 茂
副支部長兼会計 岡田忠義
〒663-8224 西宮市今津真砂町1-23-106
TEL (080)3106-1932

令和7年度事業報告

(2025年9月1日～2026年3月31日)

役員会及び理事・評議員会

11月26日(水) 役員会
1月20日(火) 役員会
3月18日(水) 役員会

紫雲会行事

10月2日(土) 第6回女子会 場所：大阪万博バスツアー
3月3日(火) 卒業生紫雲会入会式 場所：本校北体育館
3月4日(水) 卒業式 場所：本校北体育館

本部・支部総会

6月14日(土) 大阪支部総会 場所：大成閣
7月5日(土) 東京支部総会 場所：KKRホテル東京
9月21日(日) 紫雲会総会 場所：ホテルパールガーデン
(幹事団：平成14、15年卒)

令和8年度事業計画

(2026年4月1日～2027年3月31日)

行事予定(役員会は除く)

4月25日(土) 理事・評議員会
6月14日(日) 大阪支部総会
場所：大成閣 12:00～
6月28日(土) 紫雲会総会(幹事団：平成16年卒)
場所：ホテルパールガーデン 11:30～
7月11日(土) 東京支部総会
場所：KKRホテル東京 12:00～
7月24日(金) 第2回みんなの同窓会
場所：JRホテルクレメント高松1F
レストラン『ヴァン』19:00～
11月7日(土) 第2回紫雲会ゴルフコンペ
場所：グランドカントリークラブ 7:50～
11月7日(土) 第7回女子会
場所：仏生山カフェ・ド・リの11:30～
3月 卒業生紫雲会入会式及び卒業式

*紫雲会 TIMES 作成の都合により、各年3月末時点での行事報告及び予定としております

編集後記

紫雲会TIMES第2号が発行できた。「できた」というのが私の率直な感想だ。ただしこのできたのは、苦難、逆境を乗り越え、という意味合いでは全くない。創刊号については松野会長の全面的なバックアップ、というか、率先垂範のおかげで私たちはついてゆくだけでよかったのに対し、今号は基本的に紫雲会事務局長の多田さん、私、そして株式会社ムレコミュニケーションズの大高さんの3人で作り上げることができた、という意味合いでの「できた」である。

驚いたのは、インタビューや原稿依頼などをお願いに足を運び、連絡を取り、ということを見せていただいた中、「一人も」嫌だ、面倒くさい、という言葉が返ってきたことがなかったということだ。むしろ、名誉だ、自分でよいのか、という言葉をいただいたというのが実際であり、これこそが高商OB、紫雲会の力だと改めて感じたところだ。慣れないことはしんどい、が、気持ちの良い達成感を味わうことができた。

直接お世話になった皆様は当然として、紫雲会役員の皆様、高松商業の生徒、教職員の皆様、応援、ご協力、ありがとうございました。

次に作る喜びを味わうのはあなた！？

「同じアホなら踊らにヤソソソ！」仲間、絶賛募集中です。

編集責任者 左から 多田健一郎 (H5年卒、紫雲会事務局長)
齊藤 良紀 (S56年卒、紫雲会副会長)
大高 裕之 (H4年卒、ムレコミュニケーションズ)



紫雲会HPは
こちら▼



紫雲会TIMES 2号発行



昭和 46 年卒
紫雲会会長 松野 誠寛

万歳!!!TIMES2号がみなさまのところに届き、大勢から大変な賞賛を頂いています。第1号は創刊号ですから、勢いだけで出来ましたが、正常に戻った後の継続号の発行は大変だったと拝察します。齊藤良紀副会長、多田健一郎事務局長ら、大変なご苦勞でした。

さて2号は、ご覧のように「サッカー部」を取り上げました。野球部と並び、高松商のあゆみと共に今日まで校史を紡いで来ました。今日、大変苦戦している「カマタマーレ讃岐」も高松商サッカー部OB連が母体となって発足し、現在は高松商OBの増田勝氏が社長として舵取りをされています。サッカー不毛の地と言われる香川県で、プロチームを率いる苦勞は如何かとお察し申し上げます。紙面にはそんな弱音は微塵も窺いしませんが、とにかく前向きにゴールを目指すだけです。

就職も進学もできる高商、部活の高商

本校を語る際によく耳にするこの言葉は、今も変わらず高商を表しています。全国大会では、今号の表紙を飾ったサッカー部の出場、バドミントン部の女子個人準優勝や弓道部の女子団体三位、ビジネス計算個人三位という快挙を成し遂げました。こうした結果は部活動にとどまりません。進学・就職ともに、生徒一人ひとりが高商で大きく成長し、次なる進路へと進んでいます。生徒たちは、三年または四年間で大きく成長します。卒業後も高商での経験を糧に社会の第一線で活躍していて、この事実は紫雲会会員の皆様方が証明してくださっています。



校長 吉田 稔

私たち教職員は、校歌にある「希望の高嶺」に届くよう生徒を指導し、今後も活力ある高商を築いていきます。先輩方におかれましても、引き続き後輩たちを温かく見守っていただければ幸いです。

母校とともに歩む日々



平成 21 年卒 校内幹事
大高 直土

私は本校平成21年の卒業生であり、平成28年度より本校にて保健体育科教員として勤務し、本年度で11年目を迎えました。また、令和7年度より、紫雲会の校内幹事を務めております。紫雲会の活動を通して、OB・OGの皆様が力強いご支援や、在校生に対する温かく幅広いご尽力を実感しております。私は現在、柔道部の指導にあたっております。母校で部活動を指導したいという思いから教員を志し、その念願が叶い、大変充実した日々を過ごしております。全国大会へ出場した際には、多大なるご声援とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。同窓の職員の一人として、これからも母校の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

資料室の復活を！



昭和 43 年卒 前校外幹事
和田 憲明

今は無き「高商会館」に高松商業の90年の歴史を「資料室」が存在していたことを「存じでしようか？」生い立ちを簡単に時系列で述べたいと思います。

①昭和31年（1956年）9月に落成。戦後の母校、高松商業の「中興の祖」と言われた岡本久治校長や卒業生、PTAが創立50周年記念事業として鉄筋コンクリート3階建て「高商会館」を建設した。内部は時代の要請で、柔剣道場・茶華道の稽古場・合宿所・卓球場・同窓生の集会場・食堂などに使われた。

②平成2年（1990年）11月に、創立90周年記念事業の一環として3階に「資料室」が開設された。壁面には先輩から寄贈された「書」「絵画」「写真」などが展示され、ショーケースには貴重な「書物」「記念品」が飾られていた。紫雲会の資料も整理整頓されていた。

③平成27年（2015年）1月、「高商会館」閉館し、解体。借しまれつつ新校舎改築計画実施に伴い59年間で活躍の場に別れを告げた。資料室は横山賢治校長先生のご理解と、紫雲会の齊藤和良元会長、真鍋健彦会長らのご尽力で西館4階教室に移設になりました。また、資料移動や整理には田山棟信元校長と穴吹忠義先生が率先垂範されていたことを覚えていきます。

最後に紫雲会会員のひとりとして要望を述べさせていただきます。

資料室の貴重な、高商の財産を、再度、公の場に展示できればと考えます。学校関係の皆様との英知を集め、願わくば、令和12年（2030年）の母校創立130周年に記念事業として「高商歴史館」として内容をより充実して開館できればと思う今日この頃です。「伝統には無限の力が働く」（司馬遼太郎）



▲高商会館 資料室



▲高商会館落成

＼未来をあきらめない高商生を、あなたと支える！／

公益財団法人紫雲奨学会



紫雲奨学会理事長
中筋政人
(昭和 51 年卒)

1 事業種別

奨学金事業及び課外活動助成事業

2 事業目的

当法人は、学術優秀、品行方正でありながら経済的理由により修学困難な学生に対する奨学援助に関する事業を行うことで社会的有用な人材を養成すること及び国際理解教育の推進、スポーツの振興及び文化及び芸術の発展に寄与することを目的とする。

3 令和7年度公益事業の実績

(1) 奨学金の給付事業	年間総額 1,080,000円
・高松商業高校在学 各学年3名	
月額10,000円 × 9名 × 12か月	
※返済の必要のない「給付型」の奨学金です。[給付実績：累計199名（2026年3月末時点）]	
(2) 生徒の課外活動に関する助成事業	年間総額 3,277,620円
①全国大会出場助成 1,805,000円	
インターハイ等全国大会参加者361人に1人当たり5千円を助成	
7月、9月、12月、2月に贈呈式を実施	
②マイクロバスへの助成 500,000円	
部活動等で使用するマイクロバス（2台）の自動車保険、点検料等の費用を助成	
③備品助成 972,620円	
部活動に備品を助成（AED、PC、ポータブルアンプ、柔道マットなど）	
合 計	4,357,620円

みなさまのあたたかいご支援をお待ちしています

常日頃より紫雲奨学会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。紫雲奨学会では、経済的理由で高商生の明るい未来を閉ざさぬよう、みなさまにご支援ご寄付をお願いしています。当財団の目的に賛同し、事業運営にご協力いただける方は、ぜひ事務局にご一報ください。加入申込書をお送りいたします。

年会費	個人会員	1口	3千円
	法人会員	1口	3万円

※当財団は税額控除対象の公益法人に認定されています。

令和7年度寄付金総額 2,418,000円（181件）
皆様からのご厚志に感謝いたします。



全国大会出場助成金贈呈式の記念写真

所在地：香川県高松市松島一丁目18番54号
香川県立高松商業高等学校内
TEL 087-833-1971

ホームページ：<http://www.shiun-syougakukai.com/index.html>





【特別対談】 高商からJの舞台へ 受け継がれる 母校のDNAと、未来への挑戦

高松商業高校サッカー部。その伝統は部活動の枠を超え、香川県初のプロスポーツクラブ「カマタマーレ讃岐」誕生の源流となりました。今回は、高商サッカー部を語る上で欠かせない伝説の監督・山下氏、クラブの礎を築いた熱き政治家・住谷氏、その志を継承する現社長・増田氏の3名が集結。世代を超えた高商サッカー部のOBたちが思い出を交えて語る、Jへの挑戦と100年先へ繋ぐバトン！

「高商サッカーへの純粋な憧れ
野球少年たちが蹴球を追った理由」

山下：中学では野球部でね。高商でもしばらく続けていたけど、レギュラーはないと早々に悟って、当時兄がお世話になっていた先生の縁でサッカー部に入り直したんです。卒業後は大学で教員免許を取って帰郷し、通算22年監督を務めました。本当に好きなようにやらせてもらって、生徒たちには迷惑かけました(笑)

住谷：山下さんとは「高商OBクラブ」で一緒にプレーさせてもらいましたね。私も中学では野球部。病気を機にサッカー部に転身して、こんなおもしろい競技があるのか、一生辞められんぞ！と高商サッカー部へ。よく可愛がつくれた先輩方には、増田君のお父さんもいてね。熱血漢だったあの人が生きていたら、もっと早くJリーグチームができていたはず。今、増田君が社長になってすごく喜んでいると思うよ。

増田：ありがとうございます。私も小さい頃は野球が好きでしたが、父がものすごいサッカー狂で無理やりボールを蹴らされて(笑) 高商サッカー部の



山下 憲一氏
1949年生まれ。高商の教員として勤務すると共に、高商OBクラブの主力メンバーに。高商サッカー部監督も歴任し、第63回全国高等学校サッカー選手権大会から11年連続出場を果たすなど黄金時代を築いた。教え子からは山彦(ヤマケン)の愛称で親しまれ、香川県サッカー協会でも要職を歴任。2002年W杯を機に地元のJリーグチーム発足に尽力するなど、伝説の監督として香川のサッカー界を牽引し続ける。

試合を見て育った私にとって、一番の憧れは高商の先輩たちでした。山下先生には、監督としても担任としてもお世話になりました。めちゃくちゃ怖かったですが(笑) あの厳しさがあったからこそ、今の人生があります。

住谷：山下さんは恐ろしかったですよ。私が現役の時も鬼監督がいて、普段はおつかないのに正月には教え子がみんな集まってくる。そんな魅力が山下さんにもありました。何より、勝たず魔力を持っていたよね。

山下：いやいや、内情はね。決勝戦の場に車で向かっている時、赤信号で止まると心臓の鼓動が聞こえるほど緊張していたんです。でも、グラウンドで選手たちの顔を見たら、大丈夫や、勝てる。選手たちが本当によく頑張ってくれました。

香川にJを。母校の誇りを胸に
挑んだカマタマーレ讃岐への道

山下：転機は93年の「東四国国体」です。私は強化委員長として全国から有力選手を集めました。強化



右端 現高商サッカー部監督
川原 貴之助氏



チームで県リーグの3部からスタートすると大会に間に合わない。そこで、四国リーグにいた「高商OBクラブ」に選手を加えてほしいと頼み込んでね。当然猛反対をくらいましたが、高商の名を外して「香川紫雲FC」に改名することで了承を得た。ちょうどJリーグが誕生した年で、今のチームの原型とも言えます。その後、日本サッカー協会の理事をしている時にJリーグがない県は冷遇されると知り、香川にも作らないかとなると、一番に思い浮かんだのが、もう何十年も会っていない住谷君。あの時の自分を褒めたいですよ！

住谷：当時、私には市議会議員として街づくりの構想がありました。都会では週末にプロスポーツを楽しむ、明日からの仕事を頑張るというサイクルがあるが、香川の若者はそれを知らない。若者が住みたいと思う街にするためには、プロチームが必要だと。また、長年スポーツ少年団に携わってきたので、子どもたちがおらがチームで活躍できる環境を作りたい。サッカーを想う気持ちと街を想う気持ち、そして子どもを想う気持ち、山下手さんとびたり重なったんです。それで増田君にも声を掛けてね。

増田：はい。住谷先輩にごはん食べに行こうと誘われて(笑) サッカー自体

は大学で辞めていましたが、家業を継ぐためにメーカーに勤めた後に帰郷し、住谷先輩が会長を務める後援会の会計監査をしていました。「プロを目指すから手伝ってくれ」と誘っていたいた時のことは、今も鮮明に覚えています。取締役に入ったのは、会社を設立した08年からです。

住谷：そうそう、設立時は本当に大変だね。金も人もノウハウもない、走りながら考えよう。知り合いばかり回って出資を集めて、ドブに捨てたつもりで返ってこんと思ってくれ(笑) それでも、香川のために皆が出してくれた。約10年でJへ上がったのは最短だったと思います。

仕事です。もともと地域に根差して地べたを固めていけば、100年後にはアジアを目指すチームにきっとなれる。高商のDNAは諦めないこと。車いすの監督で知られる羽中田さんとも諦めなければ夢は叶う。と言っていて、我々もその一心で香川にJを作ったんです。カマタマはおらがチームだと、みなさんに応援してもらいたい。

山下：野球でもサッカーでも、高商が活躍しない盛り上がりがないほどみんな高商が好き。現役の諸君にはぜひ頑張ってもらいたい。増田新社長になって、よい方向に向かっていると感じます。

増田：「カマタマーレ讃岐」は育成型クラブとして地元密着に理念を置いています。そこはブレずに、子どもたちが夢を持てる場にしたい。母校の高商から二人でも多くの選手を、そして香川から日本代表選手を輩出していききたい。受け取ったバトンをしっかり繋いでいきます。



住谷 幸伸氏
1954年生まれ。高商サッカー部で全国高校総体に3年連続出場し、3年次は主将を務めた。卒業後は高商OBクラブの主力として、四国リーグ創設期を支えるなど競技に貢献。1995年より高松市議を4期16年務め、議長在任中の2011年、プロスポーツクラブ代表へと異例の転身を果たす。スポーツによる街づくりを信念に、Jリーグ昇格と経営基盤の確立に尽力。数々の経験を活かし、現在も社会起業家として活躍中。



増田 勝氏
1970年生まれ。高商サッカー部では山下監督の指導を受け、3年次は監督が担任を務めるという深い師弟関係のもとで汗を流した。大学卒業後は大手メーカー勤務を経て、1999年に香川へ帰郷。高商OBクラブの運営に携わりながら、2008年よりカマタマーレ讃岐の経営に参画。2025年4月、池内氏の後任として代表取締役社長に就任。アカデミーの設立にも尽力し、香川の子どもたちにサッカーの楽しさを伝える。

「山本 修氏(昭和24年卒)からのメッセージ」

終戦後に復活した我が蹴球部(当時)は四国で最も古く、戦後初であらう全国大会では、染料で染めた手製のユニフォームで戦いました。大学卒業後は大日本印刷に入って各国を巡りましたが、対日感情の厳しい国でも言葉を覚えてやってこれたのは、蹴球があったから。何より、日本中が食うや食わずの時代に一緒にボールを蹴ったOBたちがいたからです。高商サッカー部の長い歴史と諦めない根性を、繋いでいってほしいと願っています。

高松支部だより

母校の誇りとともに生きる



昭和 50 年卒
吉田 洋子
株式会社ナイスタウン
代表取締役社長
四国商工会議所女性会
連合会会長

卒業からおよそ半世紀、皆様いかがお過ごしでしょうか。

在学中に、現在紫雲会会長を務めの松野さんが教育実習にいらしたことも、今では懐かしい思い出のひとつです。当時、陸上部のグラウンドで汗を流し、培った「最後まで走り切る」精神は、その後の私の人生を幾度となく支えてくれる羅針盤となりました。

亡き夫が創業した情報関連会社を引き継ぎ、早いもので10年が経ちます。弊社は、タウン情報誌の発刊やWEB制作、イベントの企画運用などを通じて地域社会に貢献することを目指し、本年、創業50周年という節目を迎えます。また現在は、四国商工会議所女性会の会長も仰せつかり、地域の発展にも微力ながら尽くしております。日々めまぐるしく変化する時代に対応しながら歩んでこれたのは、母校で培った不屈の精神があったからこそと確信しております。

同期の皆様もそれぞれの場所で充実した日々を送られていること存じます。またいつか気兼ねなく語り合える日を楽しみにしております。

一生高商



昭和 51 年卒
若松 茂行
有限会社わかまつ食品
代表取締役会長

物心ついた時から、私の心には常に高商がありました。とりわけ高商野球部への憧れは強く、中学三年の進路指導では「無理だ」と断言されましたが、他の選択肢は考えられず、初志貫徹、熱意と根性だけを武器に、念願の高商生になることができました。

野球部は応援専門でしたが、縁あって生物部に所属。夏の二泊三日の合宿をはじめ、三年間は「楽しかった」という思い出しかないと言っても過言ではありません。大阪の大学へ進学後も、「高松商業」の名は大きな力となりました。

社会人となり一度は落ち着いた高商への思いも、県内を営業で回る中で高商ネットワークの温かさに触れ、再び燃え上がりました。以来、「高商OB」を誇りに、公私ともに充実した日々を送っています。一方で、次代を担う若い世代が自然と集える紫雲会であり続けるためには、時代に応じた工夫や変化も必要なのかもしれません。どのような姿になろうとも、私の高商への愛情だけは、これからも変わることはありません。

高松商業高等学校と紫雲会の皆様に感謝申し上げます。



平成 3 年卒
河合 伸一郎
株式会社カワイ
代表取締役
昭和 39 年卒
故 河合 政弘

この度は、私と父が学ばせていただいた高商ならびに紫雲会の皆様へ、心より感謝申し上げます。父は在学中、バスケットボールを通して、多くの師や友と出会い、その経験を礎として人生を歩んでまいりました。卒業後も紫雲会を通じてご縁をいただき、温かい交流の中で支えられてまいりました。私自身もまた、同じ学び舎でバスケットボールを通じて多くのことを教わり、人としての基盤を築くとともに、紫雲会の活動を通じて多くの先輩方から貴重なご指導を賜りました。

本年、父は他界いたしました。生前は高商や紫雲会への深い感謝の思いを折に触れて語っておりました。またおかげさまで父と私が携わっておりました会社も本年創業百周年を迎えることができました。これもひとえに高商で培った教えと、皆様からのご厚情の賜物と深く感謝しております。親子二代にわたる温かく導いていただきましたことに、改めて御礼申し上げます。高松商業高等学校および紫雲会のさらなるご発展と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

私の大切な場所



令和 3 年卒
長谷川 舞由
第 17 代高松ゆめ大使

高松商業 こんなに沢山の方から愛される魅力ある学校があるでしょうか。私自身、大人になってこの事を感じる様になりました。

今、私はカーディナーの受付のお仕事をしています。先日、新卒の後輩が入社し初めての教育係としても頑張っています。また、昨年の8月より、高松の魅力を県内外へPRする「第17代高松ゆめ大使」として活動させて頂いております。滋賀県彦根市の「ひこねの城まつりパレード」や、豪華客船「三井オーシャンフジ」の歓迎セレモニー、仏生山大名行列では姫役で参加しました。また、塩江町の観光動画では、美しい森の中で神秘的な映像の撮影に出演したりと、とても貴重な体験をさせて頂いております。

何事にも物怖じせず、新しい事に挑戦していく所は高商時代に接して下さったアクティブな先生方、自由で社交的な校風の中で育てられた賜物だと思います。これからも高商の卒業生として、見守り、見守られながら地元に貢献していきたいと思っています。

わたしを支える高商スピリッツ



平成 24 年卒
小西 未来
高松信用金庫
業務推進部係長
マネーアドバイザー

わたしが高商を卒業して高松信用金庫に就職してから13年が経ちました。新人時代、社会経験が少ない中で大卒の同期たちと肩を並べて働くのは大変なこともありましたが、銀行業務について学ぶ毎日は新鮮で楽しく、高商で学んだ簿記の知識を実務に生かすことで即戦力になっていた実感がありました。窓口業務では日々たくさんのお客様とお話する機会がありますが、お客様の中には高商OBやお子様が高商生という方も多くいらつしやり、そこからお話が盛り上がり、来店のために声をかけてもらえるようになるなど、卒業した今も高商の絆を感じることができうれしく思います。特に高商が甲子園に出場したときにロビーのテレビの前で職員もお客様もいっしょになって熱い応援をしたことは今でも思い出に残っています。

もちろん当庫にも大橋理事長をはじめ高商出身の職員が多く在籍していますが、同じ会社で働く先輩が活躍している！後輩が頑張っている！ということはわたしにとってとても心強く、いつも励みになっています。これからも地域の皆様を応援できる存在になれるよう、高商魂を忘れず職務に取り組んでまいります。

微差大差



昭和 54 年卒
岡 俊博
高校教員

母校高松商業高校陸上部への入部当初、腹筋運動が30回ほどしかできず、先輩方と筋力の差を強く感じ、悔しい思いをしました。しかし、学年が上がるにつれて、毎日、部活動と自宅において、本気で少しずつの積み重ねから50回、100回と数多くできるようになり、自分でも筋力や体力が少しずつついていることが確認できて、強い自信となり、とても嬉しかったです。日々の少しの努力の積み重ねから、筋力や脚力がつくなど身体的な面から記録も向上していきました。そして、記録の向上から精神面においても「できる、できないと考えるより、本気でその気になってやれば、できる。できなくても、悔いは少ない。」という強い確信、さらにはプレッシャーのかかる大きい大会へ臨む際の勇氣と覚悟などから、日本体育大学で第58回・第59回箱根駅伝において、山上りの5区を2年連続の区間賞と6年ぶりの区間新記録を樹立、そして日体大チームが心一つにして、9回目の総合優勝という歴史に残る結果も得ることができたこと、主将の私としましては、有終の美を飾ることができ、心の財産や宝物であります。在校生のみならずには、伝統の灯火を絶やさぬよう、更なる高みを目指して、元氣・勇氣・感動を届ける勇姿（走姿・顔心）を見せたい、と強く願うものであります。母校「高商」がよりいっそう飛躍発展いたしますことをご祈念申し上げます。なお、『微差大差』は、私が座右の銘にしているものの一つであります。



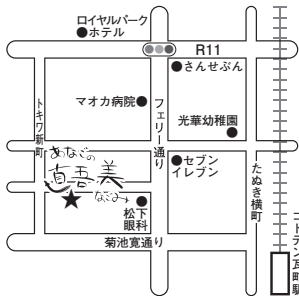
あなごの直吾美

〒760-0052
香川県高松市瓦町2丁目8-6
【営業時間】
昼／水～金11:30～L.O.13:30
夜／火～土18:00～L.O.21:30
(定休日)日・月曜日・祝日 不定休
火曜と土曜は夜のみ

<https://www.anagononagomi.jp/>



TEL:087-831-4225



仏生山カフェ・ド・リの

〒761-8078
香川県高松市仏生山町甲2507
【営業時間】
ランチ／11:00～L.O.14:00
ディナー／17:30～L.O.20:00
(定休日)水曜日、第2・4火曜日

Instagramは
こちらから



TEL:087-884-6000



(昭和50年卒 平田 真由美)

年会費納入者

紫雲会年会費の納入のご協力ありがとうございました。引き続き会費納入と寄付金のご協力をよろしくお願いします。
(令和8年より4/1～3/31期の変更しています。)

年会費は紫雲会HPからでも決済可能です。是非ご活用ください。

HPはこちらから▶



卒年	氏 名	卒年	氏 名	卒年	氏 名	卒年	氏 名	卒年	氏 名	卒年	氏 名	卒年	氏 名
プレミアム会員		S57	赤 沢 正 則	H19	大 畑 雄 太	S43	矢 野 健 二	S50	松 下 晶 紀	S59	松 原 康 頼	H9	川 田 一 作
S34	國 木 正 俊	S57	石 田 万 盛	一般会員	S43	竹 本 勝	S51	今 雪 博 司	H2	坂 下 典 子	H9	住 谷 篤 志	
S35	十 河 き み 子	S60	松 本 静 香		S43	白 井 美 昭	S53	森 野 洋 二	H2	藤 澤 晃	H11	平 田 有 一 郎	
S42	小 竹 進	S61	石 井 一 嘉	S29	小 倉 勝 行	S44	矢 野 佳 子	S53	花 田 千 万 里	H2	矢 野 美 奈 子	H15	塚 田 真 也
S43	吉 本 和 美	S62	中 橋 政 彦	S29	柏 原 正 弘	S44	松 尾 民 子	S54	石 井 浩 充	H3	越 智 克 也	H16	丸 山 大 地
S44	國 方 美 紀	S63	田 澤 香 緒 里	S32	木 太 義 治	S44	永 井 孝 志	S54	上 久 保 雅 文	H3	町 田 仁 美	H21	帰 来 宏
S46	松 野 誠 寛	H2	田 澤 修 司	S32	橋 本 義 弘	S44	松 本 安 典	S54	中 西 章	H6	中 野 圭 一 郎	H23	杉 山 俊 行
S47	南 敬 子	H3	木 村 構 作	S34	岩 澤 正 幸	S46	小 川 秀 憲	S56	齊 藤 良 紀	H6	吉 田 明 博		
S50	平 田 真 由 美	H5	多 田 健 一 郎	S35	東 原 實	S46	高 島 光 昭	S57	入 口 孝 一 郎	H8	中 谷 俊 貴		
S51	中 筋 政 人	H8	國 方 伸 一	S40	久 保 美 伸	S49	佐 野 秀 隆	S59	都 築 信 行	H9	吉 田 登 紀 枝		

**新たな発見
シャリ工房**

有限会社 **わかまつ食品**

代表取締役会長 若松 茂行 (S51年卒)

〒761-8075 高松市多肥下町1519-5
TEL (087) 867-7672(代) FAX (087) 865-6436

香川の未来をつくる地域創生マガジン
**月刊ナイスタウンは
創刊50周年を迎えます**

代表取締役社長 吉田 洋子

株式会社ナイスタウン

〒760-8513 香川県高松市栗林町1-12-27
T.087-862-7100 F.087-862-7766

Healthy Meat Lifeを創造する

株式会社 **カワイ**

株式会社協利ミートプロダクト
香川県高松市国分寺町国分890-2 TEL:087-874-2222

株式会社デリシャスプラン
香川県高松市国分寺町国分890-1 TEL:087-816-1200

有限会社クリキ興産
香川県高松市栗林3-11-28 TEL:087-833-2992

本社：香川県高松市栗林3-11-28 TEL:087-833-2991(代)
工場：香川県高松市国分寺町国分890-1 TEL:087-874-6666(代)

代表取締役社長 河合 伸一郎(平成3年卒) 代表取締役副社長 河合 弘太郎(平成4年卒)
故 河合 政弘(昭和39年卒)

田うへん本陣 小田家

山田 勲 (H6年卒)

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3186
TEL : 087-845-6522

庵治石

https://setsurou-sekizai.com

有限会社 **中村節朗石材** 代表取締役 中村 卓史 (H7年卒)

高松市牟礼町牟礼3073 ☎087-845-8911 FAX087-845-8921

本格的な和室から、
可愛いカッコいい畳まで
あなたの和室替えて魅せます。

有限会社 山下畳商店
山下明宏(平成13年卒)

〒769-0101 高松市国分寺町新居1649-5
TEL 087-874-0102

**創業40年松野不動産株式会社から
主役 松野 誠寛(昭和46年卒)のまま
合同会社松野不動産へ変身 生涯現役**

nobuchin460401@gmail.com 087-806-0066
090-7624-7252 〒761-8079高松市仏生山町乙44番地

マンション大規模修繕工事・建物メンテナンス・リフォーム

建物のいのちをつなぐ
中橋産業株式会社

代表取締役 中橋 政彦 (S62年卒)

香川県坂出市坂出町北谷314番地
TEL 0877-46-1201

令和7年4月移転!!

〒760-0065 高松市朝日町三丁目8番25号
TEL : 087-862-6111
FAX : 087-837-1757

<卒業生>
齊藤和良 (S26年卒)
齊藤良紀 (S56年卒)
國方直樹 (H7年卒)

高松青果株式会社
作ると食べるの気持ちを結ぶ。

笑顔が集まる場所をカタチに...

村井建設株式会社
TDホーム高松

代表取締役 多田 健一郎(H5年卒)

〒761-0101 香川県高松市春日町1739番地
☎087-843-0011

紫雲会イベント情報

紫雲会本部では、総会および学校行事以外で下記のイベントを開催しています。
次回開催案内および参加申込みについては、紫雲会ホームページをご覧ください。
同窓生で集い、大いに盛り上がりましょう。

行事予定は
こちらから▼



第6回女子会 大阪万博バスツアー

2025 年度は気軽に大阪万博を楽しんで頂こう♪とコトデンバスさんの協力を得て「大阪万博バスツアー」を企画開催いたしました。今回は高松商業の卒業生限定また女性限定ではなく、お友達やご家族の皆様をお誘いしていただき、総勢23名の参加者となり万博を一日中満喫できました。

○第7回女子会 開催案内

開催日時／2026年11月7日(土) 11時30分～
開催場所／仏生山カフェ・ド・リの

今年度は落ち着いた場所で、のんびりと楽しいおしゃべりタイムをと思い、高商OGが経営されているカフェにて開催致します。毎回、世代を超えて友好の輪を広げ【楽しく、参加しやすい女子会を】を心がけて企画していますので、気楽に参加いただければと思います。担当者一同心よりお待ちしております♪



みんなの同窓会

今年度は2年振りのみんなの同窓会を開催することとなりました。今回は約100名の方がご参加いただきました。今年も大勢の方に御参加いただき、年代を超えたOB・OG同士の絆を深めながら、楽しいひとときを過ごしていただければと思っております。ぜひ皆様お誘い合せの上、ご参加下さい。

開催日時／2026年7月24日(金) 19時開始
開催場所／JRクレメントホテル1Fレストランヴァン
料 金／6,500円(税込み)
開催内容／最大130名まで可能な会場になります。
松野会長の乾杯で始まり、懇親を目的とした内容で行います。
ビッフェ形式で飲み放題プランです。



ゴルフコンペ

昨年は33名の方に御参加いただき、盛大に開催できましたことを嬉しく思います。
今年は11月と気候のいい時期に開催致しますので、昨年以上の方の御参加をお待ちしております。気持ちよくプレーを楽しみながら、OB同士の親睦を深めていただければと思いますので、ぜひ皆様お誘い合せの上、ご参加下さい。

○第2回紫雲会ゴルフコンペ

開催日時／2026年11月7日(土) 7時50分スタート
開催場所／高松グランドカントリークラブ
7組、7組の計14組予約しております。
(前回、5組、4組の計9組でした)